

臨地実習【小児看護学実習】

所属/担当教員	衛生看護学院 看護科 教員		
対象学年/開講時期	第3学年/通年	単位数	2単位
履修の目的 小児各期にある対象を理解し、対象に応じた看護が実践できる。			
授業の形式 臨地実習			
授業評価の基準等 出席状況および実習状況を評価表に基づいて総合的に評価する。			
教科書・参考図書 これまでの看護全般の講義で使用したテキストおよび資料			

【授業計画・内容】

実習目標

- 1) 小児各期の特徴と正常な成長・発達及び健康上の問題を理解できる。
- 2) 小児各期の成長・発達段階に応じた日常生活の援助ができる。
- 3) 小児各期の成長・発達段階、健康レベルに応じた看護が実践できる。
- 4) 健康障害が小児と母親及びその家族に及ぼす影響を理解し、適切な援助ができる。
- 5) 保健医療チームの一員としての役割を理解できる。

実習内容（詳細については実習要綱の「小児看護学実習」を参照）

実習施設：平鹿総合病院 4はな病棟、小児科外来、
明照保育園、横手マリア園、県立医療療育センター、横手市児童センター

実習方法：

- 1) 平鹿総合病院 小児科病棟実習 6日間
 - (1) 受け持ち患児を決め、看護を実践する。
 - (2) NICUの見学実習と小児科外来実習を行う。
 - (3) 実習終了日にまとめのカンファレンスを行う。
- 2) 保育園実習・横手市児童センター 3日間
 - (1) 保育園の日課に沿って、各クラス担当保育士の指導のもと保育に参加し実習する。
 - (2) 乳児・3歳未満児・3歳以上児の各クラスを一人の学生がローテーションする。
 - (3) 実習終了日にまとめのカンファレンスを行う。
 - (4) 児童センター見学実習（1時間）を行う。
- 3) 県立医療療育センター 1日間
 - (1) 重症心身障害児病棟、肢体不自由児病棟にわかれ、指導者の指導のもと実習する。
 - (2) 一日のまとめカンファレンスを行う。